

委員会の動き

議会には3つの常任委員会のほか、議会運営委員会、広報特別委員会が設置されています。ここでは、常任委員会の活動内容を紹介します。

経済建設

水道の安定供給を担う 新設浄水場などを視察

(仮称)高倉浄水場は、令和7年からの給水を目指し、道営畑地帯総合整備事業により建設を実施。ハギノ浄水場と万年浄水場を統合し、維持管理の効率化と軽費縮減を図る。また、同事業では、老朽化した配水管の更新もされており、農村部における水道水の安定供給を担っている。

二系統の水道水供給 災害に強い水道網

11月29日、旧高倉小学校跡地に建設中の「(仮称)高倉浄水場」と音更市街地など水道区域の約6割に水道水を供給している「音更町浄水場」の視察を行った。

音更町浄水場では、「おいしい水が家庭に届くまで」と題して、川からの表流水及び深井戸の水を取り入れて、飲用水になるまでの行程や水質管理基準などを確認した。また、今年度から国の補助事業で実施している導水管の耐震化更新工事では

最新の耐震管が採用されており、管の構造や強靱さなど、耐震管の模型を使って説明が行われた。

音更町浄水場とは別系統で、十勝中部広域水道企業団から上水道区域の約4割を受水しており、二系統からの供給を行うことにより、災害に備え、安全・安心な水を安定的に供給されていることを確認した。委員からは、安

民生

合同納骨塚の受け入れ開始 通路にスロープも整備

11月30日、音更霊園内に整備された「合同納骨塚」と高齢者と若者のふれあい住宅の現地調査をした。

霊園南側に、納骨塚と標記された墓石と納骨口が配置され、通路にはスロープも整備されている。

各委員からは、安心して利用できる施設が完成したと評価する意見があった。

今年度の受付は終了したが2か月間で47人から申請があり114体を埋蔵した。

来年度の受付期間は3月1日から11月20日まで、納骨できる期間



おいしい水の源を見る (大牧浄水場)

定した品質の高い水の供給を継続してほしいとの意見があった。



10月より供用が始まりました(合同納骨塚)

は4月1日から11月30日までの予定。遺骨収容数は3千体。使用料は、遺骨一体につき1万円。永代使用料のため、以後の管理費等はいかからない。

ふれあい住宅視察 若者ニーズを把握

ふれあい住宅の建設は、平成2年、3年、8年に雄飛が丘仲区と神通10丁目に各2棟の合計4棟32戸を整備し

た。

各棟の入居者は、高齢者が1階に4人、2階に大谷短大生4人が住み、共同スペースを利用して自主運営による交流を図りながら生活する仕組みである。

委員からは、学生の入居者が減少傾向にあるので、若者のニーズも把握して改善を図りながら、利用希望者を増やす努力を期待する意見があった。

総務 文教

改修・復旧工事現場の視察 柳町小・柳町PG場を見学

11月28日、令和元年から始まった柳町小学校の改修工事と柳町パークゴルフ場の復旧工事の現地調査を行った。柳町小学校では玄関周りの引き戸やスロープ、二重窓への改修等を確認した。学校全体が暖かく子どもたちが過ごしやすい環境になっていた。

また、家庭科室には

IHクッキングヒーターを備え付けるなど、学習環境が整えられている。

町民の憩いの場に 活発な利用周知を

令和2年度からの復旧工事が行われている柳町パークゴルフ場は、コース復旧は、公益社団法人日本パークゴルフ協会から示されているコース設置基準に基づき行われ、ドックレッグをほぼなくし、カップインしたボールを屈まなくても取ること

ができる昇降器を設置、ティー台は段差を少なくした。初心者や障がいのある方も楽しめるようなコースとなっている。南コースと北コースを合わせると36ホール、受付小屋や循環式トイレも設置されており、子どもから高齢者まで幅広い利用が見込まれる。委員からは、芝もきれいに整備されており、たくさんの方に利用していただきたいとの意見があった。委員会としても活発な周知活動をしていく。



各改修箇所の説明を受ける(柳町小学校)